

風とおしの良い夢のあるまちづくり ながら俊一 通心



令和7年夏号
平群町議会議員
ながら俊一事務所
〒636-0925
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3
TEL・FAX 0745-45-3955

ごあいさつ

盛夏の候、暑い日々が続いています。

平素は、平群町町議会に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
令和7年も半年が過ぎ、本町も次年度の事を見据え、秋を迎えることとなります。
計画している業務をスムーズに進め、次に繋げる努力を重ねていかなければなりません。

これからも、『町民の皆さまにとって、安心・安全なまちづくり』・『風とおしの良い夢のあるまちづくり』を基調に、平群町の皆様方の『おもい（ご意見・ご提案）』をリアルタイムで感じ、町行政にいち早く届けるように努めて参ります。
また、その思いからホームページを立ち上げています。時代も多様化し、スピードを求められる昨今、インターネットの活用が不可欠になっております。私自身の定例議会での一般質問などを掲載する事で少しでも議会活動を理解して頂き、町行政の橋渡しの役割を担えたらとの思いから覗いていただければ幸いです。

また、町民の皆さまからのお声を元に、3月議会では、部活動改革について、教育環境の向上と老朽化対策の一体整備について、地域公共交通を考える、ごみ減量化とごみ処理について、公共下水道について、これからのまちづくりについて、また、6月議会では、部活動改革について、平群町こども計画について、健康へぐり21計画について、これからのまちづくりについての計10点を質問させて頂きました。

令和7年夏号では、その中から4点を掲載させていただきます。



(竜田川)

①地域公共交通を考える

質問要旨

近年、本町においても少子高齢化が進み、働く世代の比率が低調傾向にあります。また、社会環境の変化に対応し、働き方も多様化していると感じます。本町もこの現状を鑑み、対応していくをお願い致します。

この度、国土交通省 共創・Ma a S実証プロジェクト(令和6年度)「くまがしmo b i」共創モデル人材育成事業で「まちづくりと地域公共交通を考える」(2/6)、「公共交通対策特別勉強会」(2/3 2/10 2/17)が文化センターで開催されました。本町の公共交通ネットワークは、近畿日本鉄道、エヌシーバス、コミュニティバス、平群町デマンド型乗合タクシーなどが運行しています。これからの公共ネットワークをどのように進めていくべきか、お考えをお聞かせください。

答 弁

(総務防災課)

平群町では、町内には私鉄の駅として4駅、また、昭和60年代から吉新から北部地域への路線バス（エヌシーバス）が運行しております。地域のコミュニティバスとして、平成17年度から運行を開始し、現在、町内全域を巡回するバスとして、2ルート（西山間ルート・南北循環ルート）を運行し、小中学生の通学や、住民の買い物や通院、駅への移動など地域の交通手段として、利用されております。また、デマンド型乗合タクシーは、高齢者の閉じこもり防止を防ぐための外出支援をして、令和3年10月から町内での運行を開始し、令和6年4月から近畿大学奈良病院への運行（往路のみ）ですが、ドア・to・ドアでの運行を行っているところであります。今後とも、町内に現在の公共交通手段が維持されるように、乗っ残していくという取組など地域住民の意向を伺い、他の公共交通機関への影響も含め、平群町地域公共交通会議においてもご意見をいただき、地域の公共交通の確保を図ってまいりたいと考えております。

②ごみ減量化とごみ処理について

質問要旨

本町の焼却炉も痛みが目立ち、補修しながら運営しているのが実情です。循環型社会形成推進法を基調に、ごみの減量化・資源化を積極的に進め、環境負荷の軽減及び焼却施設の延命を心掛けなければなりません。現状、分別収集を積極的に実施し、補助事業やリサイクルステーションの開設、キエー口の普及など取り組んで頂いていると考えますが、今後、どのようにごみ処理事業を進めていくべきと考えているのか、お聞かせください。

答 弁

(住民生活課)

本町では令和5年3月に、「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、今後の処理計画について定め、令和14年度までに令和3年度比で30%の削減を目標として、5つの基本方針を柱に目標の達成を目指しています。

1つ目には、SDGs（持続可能な開発目標）の対応として、主に「町」、「事業者」、「住民」の三者協働により、キエー口の普及を含む生ごみの減量や食品ロスの削減

2つ目にはプラスチックに係る資源循環と再資源化の充実として、主に、有価物集団回収の推進や、多様化するライフスタイルに応じた資源回収拠点の設置

3つ目にはポイ捨て、犬のフン及び不法投棄防止につながる対策と官民との連携

4つ目には循環型社会形成推進として、主にごみ減量フェスタやもったいない市の開催など

5つ目には官民協働による「3 R + Renewable」の実践的な取り組みの推進として、これまでのごみの発生抑制・再利用・再生利用にプラス再生可能な物に置き換える というものです。

基本方針に基づくこのような取り組みを実施、推進し、ごみの減量化を図りながら安定的なごみ処理事業を行ってまいります。



(田んぼと電車)



(桃源郷)

③平群町こども計画について

質問要旨

令和7年3月に本町より『平群町こども計画』が策定されました。計画の背景には、まちの次の時代を担う存在であり、社会全体で支えていくことが重要であり、また、将来にわたって幸せな状態(ウエルビーイング)で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指すとしてあります。取り巻く状況や環境に随時対応し、平群町に居を構える町民の方々に安心、安全を守りながら推し進めていることと考えますが、推進に向けての取り組みについてお聞かせください。

答 弁

(住民福祉部 こども支援課)

本町ではこれまでの「平群町子どもの未来応援計画」並びに「平群町子ども子育て支援事業計画」を内包した「平群町こども計画」を昨年度末に策定しました。令和7年から令和11年までの5年間の計画年度とし、「みんなで支える こどもが主役のまちへぐり」の基本理念を基に、こどもや若者そして家庭、更にはその家庭を取り巻く地域全体を含め、一体となって支えることでこどもが安心して暮らせるまちづくりを目指すというものです。

本計画に基づき、本町に住まいを構えるこどもや家庭の安心、安全を守るため、地域子ども子育て支援事業等を継続して実施していくことは勿論のこと、こども園に防犯カメラや非常通報装置を設置し、先般、関係機関の協力を得て防犯訓練を実施いたしました。

また令和7年度からは、多様な集団活動事業の利用支援事業の実施や生殖補助医療の補助の拡充も実施致しました。

今後も、こどもの人権尊重という視点から、こどもの利益を最優先にしながら地域の中で切れ目なく子どもの育ちを支援していく「子育て支援システム」を引き続き維持、発展させることで「こどもまんなか社会」を実現し、こどもや家庭、地域のニーズを捉え、住民にとって安全・安心に暮らせるまち、また、子育て世代が本町に住んでみたいと思えるまちを目指して、各種取組の充実に努めて参ります。

④これからのまちづくりについて

質問要旨

奈良県を取り巻く環境は、人口動態などを考慮し、奈良県広域消防組合、国民健康保険、水道企業団設立と県単位化が進められています。また、地方自治体は、人口減少の中、連携を強化することで行政サービスを継続する努力をしていると考えます。本町も『平群町第6次総合計画』を基調にしたまちづくりを推し進めていると考えますが、近隣市町村との連携は、必要不可欠な状況であると感じざるを得ません。町の魅力を生かし、共に生きる施策も重要と感じています。今後の展開をお聞かせください。

答 弁

(総務部 まち未来推進課)

現在、近隣市町村との連携として、生駒市とは「生駒市の衛生施設と体育施設・図書館を、平群町の体育施設と総合文化センター・斎場施設」、三郷町とは「体育施設」の相互利用を実施し、広域連携により住民の多様なニーズに対応しております。

議員よりご質問の近隣市町村との連携によるまちづくりについては、今後もさらなる連携の強化を図り、より効果的な行政サービスの提供を行い、住民サービスの向上に努めてまいりたいと考えております。



右のQRコードを読み取り下さい。
平群町議会の中継動画がご覧いただけます。



終 わ り に

今年の梅雨は、九州・四国・近畿地方では、観測史上最短で梅雨明けしました。本当に日が昇れば、体温と同じくらいの気温になり、熱中症対策が欠かせません。雨の予報が出れば、線状降水帯が予測され、大粒の雨が降り、河川の増水に注視することとなります。土砂災害警戒区域では、不測の事態を考慮し、警戒せざるを得ません。昨今、各市町村では、ハザードマップなどを見直し、安心安全なまちづくりに心がけていますが、何事もなく未曾有の事態を考慮し、準備することの大変さを痛感しています。また、無駄を省き、必要となる施策、長期ビジョンを見据え、取り巻く環境整備も必要と感じます。まちづくりは、長期・短期の複合体です。本町の財政は、厳しく、自由に使える財政調整基金は少なく、国や県とのパイプを基に他の市町村に後れを取ることを無いよう努力を続けていく必要があると考えます。

これからも、私の原点である

『真心を忘れない』を基調に努力を惜しまず、色々と提案させて頂きながら町づくりに協力させて頂きたいと思っています。

これからも、ご支援ください。
よろしくお願いいたします。



(千光寺)



平群町観光ホームページ

山のぽっけNAVI.

平群の良さを
再発見して下さい

『画像は平群町ホームページより引用』



皆様の声を、ぜひ、
ながら俊一にお聞かせください！

ながら俊一事務所

〒636-0925

奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3

TEL・FAX 0745-45-3955

携帯電話 090-7844-8073

https://nagara-shunichi.com/

Mail :nagara@nagara-shunichi.com



facebook



Instagram

